



市及び教育委員会の働き方改革／使用済み紙おむつの持ち帰り

中江美和議員(一人会派の会)

して把握している。

市及び教育委員会職員の働き方改革の取り組みについて

質問 ①市職員の1か月の最長時間外勤務時間とその所属は。

②小・中学校教員の1か月の最長時間外勤務時間は。

③教育委員会で進めている出勤システムの導入状況は。

④時間外勤務にあらわれない市の管理職の勤務状況把握は。

市長 ①160時間で契約検査課の職員である。

教育長 ②小学校が25時間40分、中学校が32時間30分である。

③元年12月1日の導入を目指し準備を進めている。

市長 ④出退勤システムを使用

再び、保育園等での使用済み紙おむつの持ち帰りについて問う

質問 ①家庭ごみ有料化に合わせて平成31年4月から公費負担による公立保育園での処分を先

行実施できなかった理由は。

②来年度から持ち帰らせずに保育園で処分できないか。

市長 ①公費負担により処分する場合は、私立保育園への支援も合わせた実施が公平性の観点から妥当であり、公立保育園のみ先行実施する考えはない。

②私立保育園も含めた公平で効率的な方法と費用負担について、引き続き検討していく。



ひきこもり地域支援の充実／食品ロス減でSDGsを担う市へ

津本裕子議員(市議会公明党)

ための適切な対応を行っている。

ひきこもり地域支援の充実のため

質問 ①東京都ひきこもりサポートネットとの連携の現状は。

②就学期からの早期対応が重要だが、卒後も含めた教育部門と子育て支援課の連携は。

市長 ①都が実施する相談対応のうち市では訪問相談の受付を行い、ケース検討会議に都の要請があれば関係課が同席し情報共有するなど連携を図っている。

教育長 ②スクールソーシャルワーカーが早期対応に当たるとともに、関係部署の相談窓口やサービスの情報提供を行うなど、社会とのつながりを絶やさない

ス削減の分野で目指すべきでは。

市長 ①ごみの発生抑制が重要となるため市民説明会等を通じて意識啓発を行うなどしている。

市民等が発生抑制の重要性等を理解し生活等の中で実践し定着させることが課題と捉えている。

②元年度は31都市がSDGs

未来都市に選定されており、先導的な取り組みに注視していく。



集会施設等の利用者負担の見直し／介護認定調査は利用者の立場で

鈴木だいち議員(日本共産党小平市議団)

らうものと認識している。

集会施設等の利用者負担の見直しは未来のためになるのか

質問 ①減額区分は誰がどのような基準で公平に判定するのか。

②障害者団体ではない団体に障害者が所属している場合、障害者にも自己負担は発生するか。

市長 ①公共性の高さの基準や公平で公正な判定の方法等の検討を重ねたが、利点と課題があるため市民意見交換会を設けている。もたらした意見を踏まえ、公平性等の面で疑念や混乱が生じない方法を検討していく。

②集会室等の貸し出しは団体に對して行っており、使用料については団体として負担しても

利用者が家族の立場によりそった介護認定調査を

質問 ①介護認定調査時のケアマネジャー同席について見解は。

②家族が平日に認定調査に同席できない場合の対応は。

市長 ①原則的に同席できないこととしているが、ひとり暮らしで認知面の低下が見られる人や家族が同席できないため不安がある人はケアマネジャーに同席してもらうなどしている。

②基本的には平日の日中に行っているが、同席する家族などの都合が合わない場合には、平日の日中以外でも対応している。

実施された「集会施設等の利用者負担の見直しに関する市民意見交換会」のチラシと配付資料



市立小・中学校における危機管理／市内用水路の清掃について

鈴木洋一議員(政和会)

める初動態勢に基づき対応する。

小平市立小・中学校における危機管理について

質問 ①全小・中学校で危機管理マニュアル等策定しているか。

②どのような災害を想定して避難訓練を実施しているか。

③防災危機管理課と緊急時の対応の連絡を取り合っているか。

教育長 ①全校で学校危機管理マニュアルを策定している。

②火災や地震のほか、風水害なども想定し、全ての小・中学校で年11回の訓練を行っている。

③台風等の緊急時には関係課による連絡会に出席するなど連絡を密にしている。災害対策本部設置の際は地域防災計画に定

小平市内の用水路の清掃の清掃について

質問 ①市内の用水路の清掃には何団体が参加しているか。

②除草作業等は、年1度の沼

さらいでやらない場所は隣接所有者が行っており負担がかかっているが、市で対応できないか。

市長 ①沼さらいでは用水路隣接の16自治会とJA東京むさし19支部に協力してもらっている。

②協力してもらっている市民が高齢化により作業が難しくなるなど、さまざまな事情があるので、個別に相談してもらった上で、適切な対応を行っていく。



健康で文化的な最低限度の生活の保障のために／児童虐待防止

きせ恵美子議員(日本共産党小平市議団)

児童相談所と子ども家庭支援センターのそれぞれの役割、連携体制は。

健康で文化的な最低限度の生活を保障するために

質問 ①生活保護を申請に来た生活困窮者に対し、相談者全員に申請意思を確認しているか。

②受給者に就労指導をした件数と就労に結びついた件数は。

③1人のケースワーカーが対応している受給者の平均人数は。

市長 ①面接担当職員が全ての相談者に意思を確認している。

②平成30年度は就労指導が87人、就労に結びついたのが77人。

③10月末時点で109世帯である。

児童虐待防止、監視ではなく支援拡充を

質問 ①保育園入園選考基準表の就労については、月の勤務日数と何時間以上かで点数が決

られている。1番点数が高いのは月20日以上かつ15時間以上53点、その下は14時間以上の50点と続く。就労時間に休憩時間

は含まれないので、夫婦で同じ9時から17時30分勤務だが昼休憩が夫は45分、妻は60分の場合、就労時間は夫155時間、妻150時間となり妻の点数が下がる。就労の拘束時間は変わらないのに休憩時間によって点数が変わってしまうことについての見解は。

○学校給食について



子育て中の諸課題

小林洋子議員(フォーラム小平)

場合、就労時間の証明が難しい。収入をベースに就労時間をカウントすると、すぐに収入に結びつかないフリーランスの人にとっては不利であるが見解は。

保育園の申し込みについて

質問 ①保育園入園選考基準表の就労については、月の勤務日数と何時間以上かで点数が決

られている。1番点数が高いのは月20日以上かつ15時間以上53点、その下は14時間以上の50点と続く。就労時間に休憩時間

は含まれないので、夫婦で同じ9時から17時30分勤務だが昼休憩が夫は45分、妻は60分の場合、就労時間は夫155時間、妻150時間となり妻の点数が下がる。就労の拘束時間は変わらないのに休憩時間によって点数が変わってしまうことについての見解は。

○学校給食について

定期接種ワクチンの接種対象者への周知をいっそう丁寧に

質問 ①肺炎球菌ワクチンの接種率向上のための取り組みは。

②間もなく子宮頸がん予防ワクチン対象外となる高校1年生への情報提供についての見解は。

市長 ①5月下旬に対象者全員に予防接種の予診票等を発送する個別勧奨を行うとともに市報等で費用助成のお知らせをした。

②予防ワクチンは対象年齢の間に接種することが最も効果的であるとされていることから、定期接種の年齢のうちに接種してもらえよう、今後も市ホームページ等でお知らせしていく。

交通安全対策の充実のために

質問 ①元年12月1日施行の改正道路交通法では、携帯電話等ながら運転が厳罰化されるが、どのように周知に取り組むか。

②都が運用する自転車安全利用指導員制度を導入できないか。

市長 ①市報等での情報発信のほか交通安全講習会等の機会に関係機関と連携し周知していく。

②実施場所は交通事故の発生件数等が多い交差点を優先しており、現在は小平市での実施予定はないと聞いている。今後、関係機関と連携し自転車利用者への交通安全対策に努めていく。



交通安全対策の充実／定期接種ワクチンの周知をより丁寧に

山岸真知子議員(市議会公明党)

定期接種ワクチンの接種対象者への周知をいっそう丁寧に

質問 ①肺炎球菌ワクチンの接種率向上のための取り組みは。

②間もなく子宮頸がん予防ワクチン対象外となる高校1年生への情報提供についての見解は。

市長 ①5月下旬に対象者全員に予防接種の予診票等を発送する個別勧奨を行うとともに市報等で費用助成のお知らせをした。

②予防ワクチンは対象年齢の間に接種することが最も効果的であるとされていることから、定期接種の年齢のうちに接種してもらえよう、今後も市ホームページ等でお知らせしていく。